

平成30年度地域文化功労者文部科学大臣表彰について

1 趣 旨

全国各地において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰するもの。

例年、各都道府県からの推薦を受けて約100名(団体)程度の受賞者が決定される。

なお、本制度は、昭和58年度に創設された。

2 本県の受賞者(2名)

さとう こういち
佐藤 幸一 氏(漆芸家)

- ・生年月日 昭和10年9月15日生(83歳)
- ・住 所 輪島市河井町1-188 [電話 0768-22-3178]
- ・役 職 等 輪島塗技術保存会参与
- ・受賞分野 芸術文化分野
- ・功績概要 永年にわたり、漆芸家として優れた活動を行うとともに、国指定重要無形文化財「輪島塗」の保存と継承に尽力し、地域文化の振興に貢献している。

むぎや せいいちろう
葵谷 清一郎 氏(能楽師 太鼓方)

- ・生年月日 昭和12年11月14日生(80歳)
- ・住 所 小松市龍助町84 [電話 0761-22-5806]
- ・役 職 等 元 公益社団法人金沢能楽会理事
- ・受賞分野 芸術文化分野
- ・功績概要 永年にわたり、国指定重要無形文化財「能楽」(総合認定)保持者として優れた活動を行うとともに、公益社団法人金沢能楽会理事等を務め、地域文化の振興に貢献している。

3 表彰式

日 時：平成30年9月30日(日) 9:30~11:30

※文化庁創立50周年記念式典の中で表彰を行う

会 場：国立京都国際会館ニューホール

(京都市左京区岩倉大鷲町422番地)

4 贈 呈

文部科学大臣表彰状・記念品

平成30年度地域文化功労者文部科学大臣表彰受賞者

氏名<芸名> (年齢)住所	分野	推薦事由	役職歴	受賞歴
さとう こういち 佐藤 幸一 (83歳) 輪島市	芸術文化 (漆芸)	<p>昭和36年の第4回日展において、「鳥」が初入選を果たし、昭和38年の第2回日本現代工芸美術展において「魚網」が初入選を果たしている。</p> <p>昭和44年に漆芸家として独立し、創造的な仕事にも意欲的に取組み、昭和52年には、日本現代工芸美術家協会の会員に推挙され、昭和54年の第18回日本現代工芸美術展において、「風樹」が会員賞を受賞したほか、第11回日展において「森の声」が特選を受賞し、以降多数の出品、入選、特選を重ね、平成5年には、重要無形文化財輪島塗技術保存会(蒔絵部門)会員に認定されている。</p> <p>平成6年には日展の会員に推挙され、日本現代工芸美術展、日展共に審査員を何度も務める中、平成11年の第31回日展において、「漂泊」が会員賞を受賞するなど、積極的に制作、出品を続けており、我が国の漆芸会を代表する作家として第一線で活躍し続けてきている。</p> <p>さらに、地元においては、石川県内の美術工芸作家が中心となり、分野、会派を超えて集まった県内唯一で、最大の美術団体である「一般財団法人石川県美術文化協会」の常任評議員、理事を歴任し、平成16年4月から財団法人輪島漆芸美術館の評議員として運営、展示に携わる。</p>	日展 会員(H6~) 評議員(H17~H26) 日本現代工芸美術家協会 評議員(S61~H14) 理事(H14~H18) 石川県美術文化協会 常任評議員 (H7~H16) 理事(H16~23) 重要無形文化財輪島塗技術保存会 理事(H16~H28) 参与(H28~)	石川県文化功労賞(H17) 輪島市産業功労賞(H19)
むぎやせいいちろう 麥谷清一郎 (80歳) 小松市	芸術文化 (能楽)	<p>昭和46年に太鼓方として、初舞台「小鍛冶」を勤めた。</p> <p>昭和48年1月には、宗家からその技量と太鼓に打ち込む姿勢が認められ、入門からわずか3年で「師範免状」を許され、観世流太鼓方職分としてプロの道を歩き出し、同年2月に社団法人能楽協会に入会。</p> <p>平成10年には、斯道の最高峰である国の重要無形文化財能楽(総合指定)の保持者として追加認定され、一般社団法人日本能楽会の構成員となる。地元では能楽団体である「金沢能楽会」の一員として数多くの舞台上で活躍すると共に、昭和49年1月に自身が主宰となり「北陸清響会」を結成し、現在も約80名の門弟を率い、後進の育成に尽力するとともに、能楽の継承、発展に尽力している。</p> <p>また、平成2年6月からは、社団法人金沢能楽会の理事を務め、日頃、観能の機会が少ない地域の児童生徒や地域住民の方々に直接、鑑賞してもらう機会を作るため、平成2年度から始まった「県民移動能」といった本県主催の企画に当初より協力し、現在に至るまで長きにわたり、舞台にも出演し続けている。</p>	金沢能楽会 理事(H2~H23) 日本能楽会会員 ※重要無形文化財能楽(総合指定)保持者 (H10~) 石川県能楽文化協会 理事(H25~H26)	石川県文化功労賞(H17) 北國芸能賞(H10)

平成30年度地域文化功労者文部科学大臣表彰受賞者

(五十音順・敬称略)

さとう こういち
佐藤 幸一



むぎや せいいちろう
麥谷 清一郎



石川県における地域文化功労者文部科学大臣表彰受賞者一覧

1 受賞者

年度	芸術文化分野	文化財保護分野
昭58	石川県児童文学協会	伊藤 常次郎(民俗)
59	藤間 勤寿々(日 舞)	金沢素囃子保存会
60	杵屋 六以満(邦 楽) 石川県美術文化協会	
61		毎田 仁郎(友 禪) 加賀漫才保存会
62		深瀬木偶廻し保存会 尾口村東二口区文弥人形浄瑠璃保存会
63	尾坂 薫(声 楽)	お熊甲祭奉賛会
平元	中村 祐子(バレエ)	青柏祭てか山保存会
2	田村 天月(吟 詠)[H 2]	才田 健治(文化財)[H 1]
3		片岡 吉雄(能 楽)[H 2]
4	杵屋弥房以(邦 楽)[H 3]	史跡御経塚遺跡保存会
5	中西 鋪土(俳 句)[H 3]	能村 祐丞(能 楽)[H 3]
6	藤間勤紫佐(日 舞)[H 3]	圓山 義一(文化財)[H 2]
7	大島 宗古(茶 道)[H 4]	谷内 掃郎(文化財)[H 3]
8	藤間 勤奴(日 舞)[H 2]	松本 昌平(文化財)[H 5]
9		釣谷 雅楽房(箏 曲)[H 3] 宮下 與真(文化財)[H 6]
10	藤藤 文枝(日 舞)[H 3]	波邊 容之助(能 楽)[H 5]
11	横西 霞亭(書 道)[H 1] 坂上 幽晴(箏 道)[H 5]	
12	川北 篤(洋 楽)[H 8] 津川 洋三(短 歌)[H 8]	
13	奥田 寛三(洋 画)[H 2] 藤藤喜代枝(日 舞)[H 6]	
14	山本 弘風(茶 道)[H 8] 藤間勤寿々(日 舞)[H 7]	
15	得能 節明(彫 刻)[H 7] 山下 岳徳(吟 詠)[H 9]	
16	今村 充夫(短 歌)[H10]	北西 弘(文化財)[H14]
17	作本 康悦(民 謡)[H11] 廣岡 紫穂(箏 道)[H 9]	
18	中町 進(日本画)[H 9] 大村 松雄(洋 楽)	
19	花菱は満朝(小 唄)[H10] 佐藤 幸夫(箏 道)[H11]	
20	奥 美瓜露(川 柳)[H10] 富岡 省三(写 真)[H 9]	
21	石田 康夫(彫 刻)[H11] 泉 理骨(箏 道)[H12]	
22	千田 一路(俳 句)[H10] 森 唖(合 唱)[H13]	
23	毎田 健治(染 織)[H13]	住駒 幸英(能 楽)[H12]
24	杉本 理照(箏 道)[H13] 藤間 勤菊(日 舞)[H13]	
25	大島 宗翠(茶 道)[H14] 吉倉 虚白(茶 道)[H14]	
26		能村 祐丞(能 楽)[H15]
27	銭亀 賢治(彫 刻)[H14] 森 翠穂(箏 道)[H16]	
28	尾沢 清登(短 歌)[H16] 泉 幸志(日 舞)[H16]	
29	松尾 道子(清 元)[H17] 山瀬 晋吾(彫 刻)[H15]	
30	佐藤 幸一(漆 芸)[H17] 桑谷 清一郎(能 楽)[H17]	

※平成29年度までに59人・9団体が受賞(総計68件) []内は、石川県文化功労賞受賞年度

2 受賞件数

芸術文化分野 個人47人 団体2件

文化財分野 個人14人 団体7件